

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 2月 25日

公表:平成 3年 3月 1日

事業所名 ドリームボックスときわ台

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			一人ひとりに折りたたみ机を用意し、学習時も密にならぬようにしています。	安全で広い空間が保たれるよう心がけます。
	2	職員の配置数は適切である	○			できる限り基準に準じた人員配置以上の配置になるよう行っています。	引き続き余裕を持った職員配置ができるようになります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			車いすの導線を考えたレイアウトを作っています。	必要に応じて今後もバリアフリー化に勤めます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			午前中、日々ご利用の児童(個々)について申し送り及びケース会議を行っています。	申し送りとケース会議を継続していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			2月実施	引き続きHP等で公開します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			HPにて公開	引き続きHP等で公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			区内の民生委員児童委員にお願いしています。	引き続き区内の民生委員児童委員にお願いします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修等の案内を行い、必要に応じて参加しています。	今後も外部研修等に参加できる機会を作っていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者面談とアセスメントをもとに、計画を作成しています。	引き続き児童に沿った計画になるよう心がけます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			できるだけ具体的な内容が記載できるようにしています。	その都度、改善しながらより良いものにしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員全員で立案しています。	引き続き児童の成長に沿った活動を職員全員で立案していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童の要望を取り入れながら、イベント・調理・お出掛け等を行っています。	児童のニーズに応じた活動やイベント等を考え実施していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	○		それぞれに合わせた設定を行っています。	必要に応じてスケジュールの見直しや改善を行っていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			他児童と関わりが持てるような計画を考えています。	児童の発達段階やニーズに応じて、小集団での活動も取り入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			日常の申し送りや職員会議で準備・当日の確認を行っています。	毎日の申し送りを継続して行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			後日、職員会議を行い、総括しています。	職員会議での総括を継続して行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日誌と経過記録表にて児童の記録を残しています。	引き続き日誌と経過記録表にて児童の記録を残し支援の検証・改善につなげていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1回モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	必要に応じて適宜個別支援計画の見直しを行っていきます。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			ガイドラインを元に事業所運営を行っています。	児童の発達段階やニーズに応じて、小集団での活動も取り入れていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			役職者または該当児童とよく関わっている職員が参加しています。	状況や内容に合わせて参加者を決めていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			必要に応じ互いに電話や訪問し合いながら、連携をとっています。	引き続き、連絡を取り合いながら連携をとっていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		該当者なし。	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは専門的な資格をもった職員(看護師等)がいないため行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○	保護者より提供された情報を活用しています。	必要に応じて随時行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	行っていません。	依頼があれば、提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	行っていません。	研修等があれば、積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	現在は行っていません。	ニーズが出された時は検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			役職者が積極的に参加しています。	引き続き、役職者が積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳を活用し、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持てるようにしています。	引き続き連絡帳を活用し、子どもの状況を保護者と伝え合っていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	現在は行っていません。	必要に応じて検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明しています。	引き続き契約時、又は変更時に説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳、電話等、相談をいただくことがあります。	スタッフ内で共有し、助言、対応を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	ニーズが出された時は検討していきます。	ニーズが出された時は検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している			○	頂いたご意見は事業所内で共有し、迅速に対応できるようにしています。	迅速で丁寧な対応を心掛けます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○	行事毎にお便りを発行しています。	定期的な通信の発行を検討中です。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報は鍵のかかる書庫で保管しています。	今後も個人情報に対して、適切な取り扱いを行います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			○	必要に応じて随時行っていきます。	コミュニケーションを図る相手に合わせて、伝わりやすい話し方や言葉を選び、身振り手振り筆談など伝え方に配慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	ニーズが出された時は検討していきます。	ニーズが出された時は検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	職員へ周知しているが、保護者への周知は行えていません。	保護者への周知方法を検討し、機会をつくっていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	不定期に訓練を行っています。	今後、児童も含めた訓練を定期的に行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	外部の研修に参加しています。	外部の研修等の機会がある時は、積極的に参加していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	現在、該当者なし。	必要に応じて、個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者からヒヤリングを行い、おやつ提供時にはできる限り配慮を行っています。	引き続き、保護者からヒヤリングを行い、おやつ提供時にはできる限り配慮を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	事故やヒヤリハットが起こった場合は報告書を作成し、事業所内での共有を行っています。	引き続き、ヒヤリハットの共有を行い、スタッフ間で対策を考え実施していきます。